

第3学年算数科学習指導案

日 時 令和4年10月5日(水)

授業者 ホップ N.S.

ステップ M.K.

ジャンプ Y.H.

1 単元名

「筆算のしかたを考えよう」

2 単元の目標

- ・ 2位数や3位数も1位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることを理解する。
- ・ 乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いる。
- ・ 数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりする。
- ・ 2位数に1位数をかける程度の計算を暗算でできる。また、計算の結果の見積もりについても触れる。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 乗法の計算は乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることなどを理解し、乗法九九と関連させながら、 $(2 \cdot 3 \text{位数}) \times (1 \text{位数})$ の筆算のしかたを理解している。	① 既習の乗法や計算のきまりを活用して、 $(2 \cdot 3 \text{位数}) \times (1 \text{位数})$ の計算のしかたを、具体物や図、式を用いて表現して考えたり、わかりやすくまとめたりしている。	① 2位数や3位数に1位数をかける計算のしかたを考えたり、この考えを活用するよさに気づき、すすんで生活に生かしたりしようとしている。
② 乗法の計算は乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることや、 $(2 \cdot 3 \text{位数}) \times (1 \text{位数})$ の筆算のしかたを理解し、 $(2 \cdot 3 \text{位数}) \times (1 \text{位数})$ の計算を筆算でできる。	② 既習の乗法や計算のきまりを活用して、 $(2 \cdot 3 \text{位数}) \times (1 \text{位数})$ の計算のしかたを、具体物や図、式を用いて表現して考えている。	② 2位数や3位数に1位数をかける計算のしかたを考えたり、この考えを活用するよさに気付いたりしようとしている。

4 単元について

本単元で扱う内容は、算数科学習指導要領解説では以下のように位置付けられている。

第3学年 A (3) 乗法

(3) 乗法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。

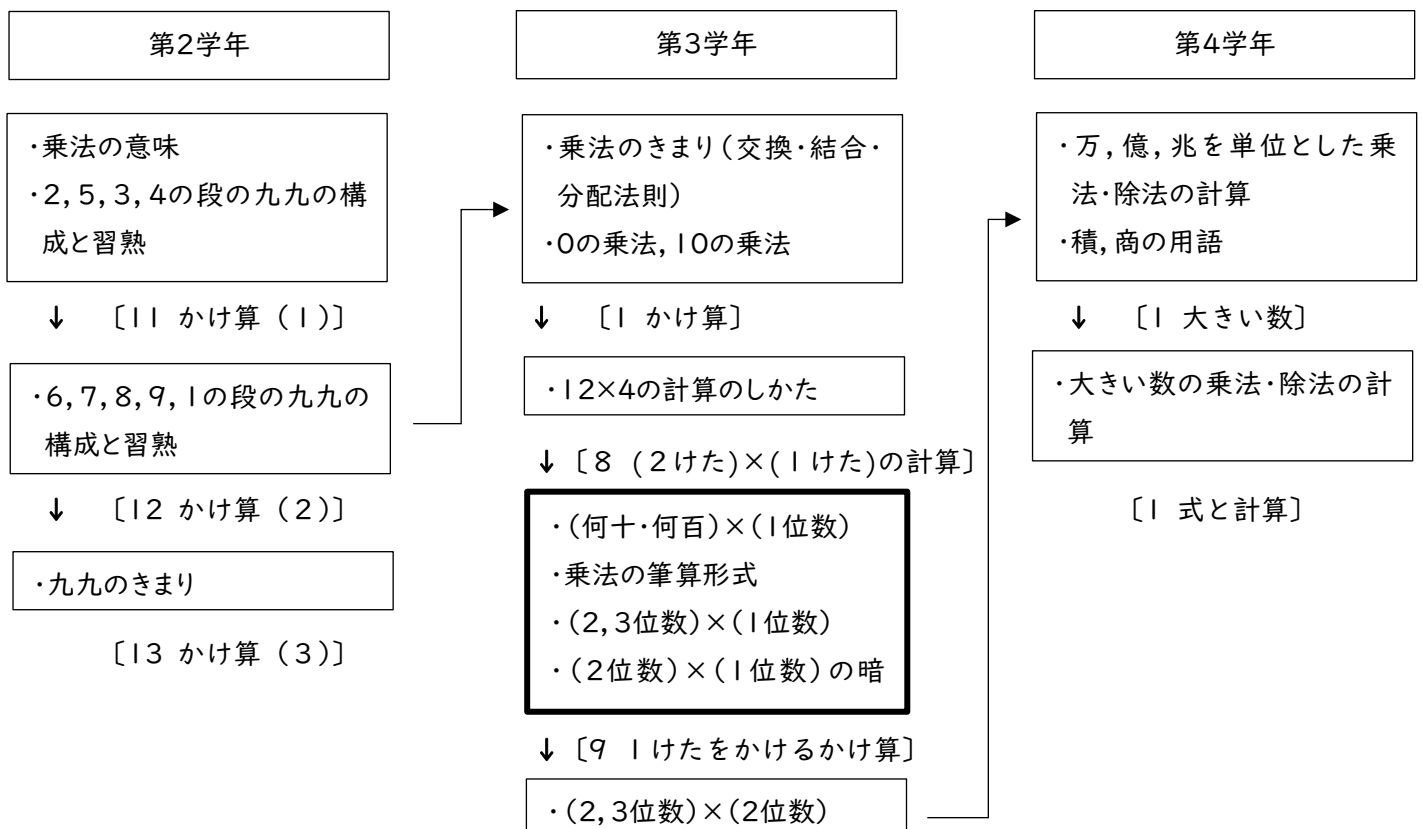
(イ) 乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いること。

イ 次のような思考力、判断力、表現等を身に付けること。

(ア) 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりすること。

乗法については、第2学年で乗法九九を知り、多くの児童は(1位数)×(1位数)が確実にできるようになっている。また、「①かけ算」で、乗法や被乗数が0、10の乗法に関して成り立つ性質を学習した。

本単元では、まず、問題場面から乗法の立式を行う。第2学年で児童は、(1つ分の大きさ)×(いくつ分)=(ぜんぶの数)のかけ算の場面を学習している。レディネスの結果から3学年全児童にそのことが定着しているとは言えないが、被乗数が何十、何百になっても、同様に立式することができることを捉えさせる。しかし、被乗数が2位数のため、立式はできても答えを求めることはできない。そこで、「どうすれば乗法九九が活用できるか」について児童に考えを深めさせたい。



[10 2けたをかけるかけ算]

5 単元の指導計画（10時間扱い）

	目標	・学習内容	評価基準（評価方法）
第1時	被乗数が何十、何百の場合の乗法の答えを、10がいくつ分、100がいくつ分と考えて、九九を用いて求める。	<ul style="list-style-type: none"> ・20×4の計算のしかたを考え、発表し合う。 ・10の8(2×4)個分という考え方でまとめる。 ・200×4の計算のしかたを考え、発表し合う。 ・100の8(2×4)個分という考え方でまとめる。 	<p>【思】10や100のまとまりに着目して、答えの求め方を考えている。</p> <p>【知】何十・何百に1位数をかける乗法のしかたを理解している。</p>
第2時 (本時)	23×3 の計算のしかたを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・23×3の計算のしかたを考える。 ・1が3×3個と10が2×3個と考えて計算する考えと、23を20と3に分けて計算する考えを比べ、同じところを話し合う。 	<p>【思】既習事項を活用して、23×3の計算のしかたを具体物や図、式を用いて表現して考えている。</p>
第3時	乗法九九が使えるように、被乗数を位ごとに分けて計算する筆算形式に置き換える。	<ul style="list-style-type: none"> ・23×3の筆算のしかたを考える。 ・位ごとに分けてかける方法を念頭におき、ブロックと式と筆算を結びつけながら筆算の仕組みを説明し合い、まとめる。 	<p>【知】乗法の筆算の仕組みを理解し、筆算で計算できる。</p>
第4時	(2位数) \times (1位数)で、繰り上がりのある計算を筆算でする。	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り上がりのある筆算のしかたを考える。 ・繰り上げた数をどのように処理すればよいか話し合う。 ・46×7の筆算のしかたを考える。 ・繰り上げた数をどのように処理すればよいか話し合い、まとめる。 ・繰り上がりのある筆算形式についてまとめる。 	<p>【態】筆算のよさに気づき、すすんで用いようとしている。</p> <p>【知】繰り上がりのある(2位数)\times(1位数)の筆算ができる。</p>
第5時	(2位数) \times (1位数)で学習したことを用いて、(3位数) \times (1位数)の計算のしかたを説明する。	<ul style="list-style-type: none"> ・213×3の計算のしかたを考える。 ・考えを発表し合い、その妥当性を検討する。 ・位ごとに分けてかける方法をブロックと式を結びつけながら計算のしかたを説明する。 	<p>【思】(2位数)\times(1位数)の計算のしかたを活用して、(3位数)\times(1位数)の計算のしかたを具体物や図、式を用いて表現して考えている。</p>
第6時	・(3位数) \times (1位数)の筆算のしかたがわかる。	<ul style="list-style-type: none"> ・213×3の筆算のしかたを考える。 ・位ごとに分けてかける方法を念頭におき、ブロックと式と筆算を結びつけながら 	<p>【態】筆算のよさに気づき、すすんで用いようとしている。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 筆算のよさに気付き、すすんで用いようとする。 (3位数) × (1位数) で繰り上がりのある計算を筆算です。 	筆算の仕組みを説明し合い、まとめる。 <ul style="list-style-type: none"> 繰り上がりのある筆算のしかたを考える。 繰り上げた数をどのように処理すればよいか話し合う。 	【知】(3位数) × (1位数) の筆算のしかたを理解し、筆算ができる。
第7時	(3位数) × (1位数) で、繰り上がりのある計算を筆算です。	繰り上がりのある筆算形式についてまとめる。	【知】(3位数) × (1位数) で、繰り上がりのある筆算のしかたを理解し、筆算ができる。
第8時	(3位数) × (1位数) で、被乗数に0のある計算を筆算です。	<ul style="list-style-type: none"> (3位数) × (1位数) で、被乗数に0のある計算のしかたを考える。 考えの妥当性について検討する。 	【知】被乗数に0のある(3位数) × (1位数) の筆算ができる。
第9時	(3位数) × (1位数) で、被乗数に0のある計算を筆算です。	<ul style="list-style-type: none"> 20 × 3の大きさをもとにして、24 × 3の答えの大きさの見当をつける。 24 × 3の暗算のしかたをまとめる。 	【知】(2位数) × (1位数) の暗算のしかたを理解している。
第10時	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の確かめをする。 既習事項の理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> (3位数) × (1位数) の計算のしかたを確認する。 乗法の筆算の練習をする。 文章題を解く。 (2・3位数) × (1位数) の筆算をする。 文章題を解く。 	【知】既習事項について理解している。

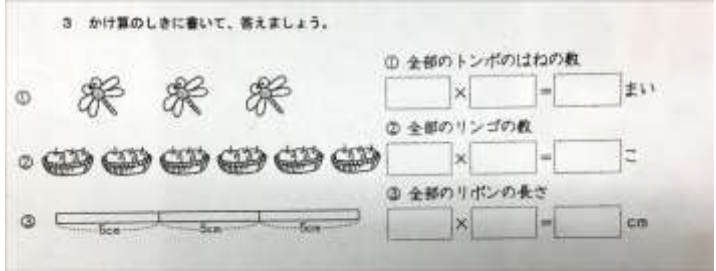
6 研究主題について

<p>【研究主題】</p> <p style="text-align: center;">自分の考えを表現する力を育てる算数科の授業</p> <p><目指す児童像></p> <p style="text-align: center;">自分の考えをもち、それを伝え、認め合える児童</p>
--

(1) 児童の実態

①レディネステストの結果 (9月13日実施 第3学年 在籍85名 実施83名 未実施2名)

	問題内容	正答率(%)	おもな誤答
①	かけ算の交換法則や結合法則が理解できている。 問題例 $5 \times 4 = 5 \times 3 + \square$	82	交換法則や、結合法則の仕組みが理解できていない。

②	0や10の乗法の計算や、乗法九九を1回適用して求める乗法ができている。 問題例 $5 \times 0 = \square$ $8 \times 10 = \square$	93	乗法九九の定着が不十分 0の乗法の意味を理解できていない。
③	絵を見て、乗法の立式を正しくすることができる。 	65	絵や図から、正しくかけられる数とかける数を読み取れていない。

レディネステストの結果から児童の実態として以下のことが挙げられる。

テストの結果としておおむねほとんどの児童が理解しており、高い正答率になっている。大問3は三種類の絵や図から被乗数と乗数を正しく読み取り、立式できる児童が半数以上いた。誤答では、「1つ分の数」と「いくつ分」の数を反対にして立式してしまう児童もいた。

このことから、乗法そのものの仕組みや交換法則や結合法則の仕組みについて理解できていない児童がいることが分かった。したがって、まずは問題から乗数と被乗数を読み取り、正しく立式することの理解を深めたいと考え、本時を設定した。

②意識調査の結果（9月9日実施 第3学年 在籍85名 実施81名 未実施4名）

		当てはまる (%)	やや当てはまる (%)	あまり当てはまらない (%)	当てはまらない (%)
①	算数は好きですか。	38	37	16	9
②	算数の授業はわかりますか。	59	36	4	1
③	算数の学習にすすんで取り組んでいますか。	46	39	15	0
④	算数の学習で自分の考えを書くことはできていますか。	36	42	20	1
⑤	算数の学習で自分の考えを伝えることができますか。	23	47	24	6
⑥	算数の学習で自分の考えを説明したり伝えたりすることは好きですか。	27	26	42	5
⑦	算数の学習で友達の影響や説明を聞くことは好きですか。	60	31	5	4

意識調査の結果から算数が好きだと75%の児童が肯定的な回答をしている。また、算数の学習にすすんで取り組んでいると回答した児童が85%おり、多くの児童が意欲的に算数の学習に取り組んでいることが分かる。

算数の授業の中では、友達の考えや説明を聞いて学習することが好きな児童が 92%いるが、自分の考えを友達に伝えたり発表したりすることには苦手意識がある児童が 53%いることが分かる。自分の考えを表現できているかという質問に対して肯定的な回答が9割を占める一方で、実際は自分の考えを書き、友達と伝え合える児童は半数程度になっている。

児童が自分の考えをすすんで書き、友達の考えと比較し、違いや共通点に気付く経験を重ね、自分の考えを表現する力を付けられるような授業を工夫したい。

(2) 研究主題に迫るための手だて

<自分の考えをもつ>

(ア) 児童の興味関心を引きつける問題提示の工夫

- 買い物の際のお金の計算など、児童の日常生活に関わりのある場面を問題場面に設定し、児童の興味を引きつけ、学ぶ意欲、必要感を感じさせる問題の提示と課題を設定する。児童の問題解決への目的意識を持続させ、単元全体を見通すことができるような単元設定を行う。
- 本時では、ホップとステップは買い物の場面、ジャンプは学校生活の場面を問題場面に設定した。また、前時で単位が「円」であるチョコレートの問題だったので、ホップとステップは今回も単位が「円」であるケーキとラムネ菓子、ジャンプは単位が「冊」である本の問題を習熟度クラス別に設定した。
- 前時の学習問題と比較し、違いを意識させて本時の問題場面を考えさせる。

(イ) 既習事項の理解と定着

- 新たな学習問題に対して自分の考えをもつためには、既習事項を生かして自力解決の見通しをもつことが必要である。そのためには、既習事項の理解と定着が不可欠であり、プリントやドリルを活用し、繰り返し既習事項の定着を図る。かけ算九九や、(何十・何百)×(1位数)、繰り上がりのない(2位数)×(1位数)の計算の定着が図れていない児童に対しては、朝の学習等を活用して補充指導を行う。
- 毎時間、授業の最初に前時の学習内容のふりかえりの場を設け確認と定着を図る。
- 既習事項とのつながりを意識できる場を設け、既習事項を活用し、問題を解決する力をつける。

(ウ) 個に応じた働きかけ

- ・自分の考えがもてない児童
 - 既習事項の掲示を参照させたり、ヒントとなる助言をしたりする。被乗数を何十と何に分け、既習の何十をかける計算と1位数をかける計算をすればできることに気付かせていきたい。
- ・自分の考えを絵や図、言葉でノートに表現することが苦手な児童
 - どのように考えたのかを聞きながら、話したことを書き表すように助言をする。また、分かりやすく表現できている児童のノートを参考に提示し、ノートのまとめ方についての理解を深める。
- ・自分の考えをもち表現できる児童
 - 一つの方法だけでなく、他の方法や考え方はないか考えさせる。児童の実態に合わせ、声かけや助言をする。

<自分の考えを表現する>

(ア) 考える場の設定

- 自分の考えを絵や図式や文章でノートにかく活動を授業の中に位置付ける。
- 自己解決の所要時間については、習熟度別クラスの実態に合わせて工夫する。ホップは自分の考えを書く時間を十分取る他、自力解決が難しい場合、実態に応じて全体で考える授業展開をする。ステップ、ジャンプ、チャレンジにおいては、適用問題としてステップは繰り上がりのない（2位数）×（1位数）、ジャンプは繰り上がりのある（2位数）×（1位数）の適用問題、チャレンジは数字を自分達で選んだ（2位数）×（1位数）の発展問題にも取り組み、自分の考えを生かした学習活動を段階的に取り入れる。

(イ) 表現方法の工夫

- お金やブロック、数え棒など具体物の操作や絵・図・式・言葉を使って自分なりに考えさせ、説明させる。自分で表現方法を選んで考えを表すことができるように、お金の絵やブロック図だけを印刷したプリント、実際のブロックや数え棒などを準備しておき、それぞれの思考に合ったものを使えるようにする。
- 自分の考えを説明するための言葉のパターン（例：「はじめに」「次は」など順序を表す言葉）を教室掲示し、必要に応じて活用させる。ただし、あまり話型にこだわりすぎず、自分の考えを自分の言葉で伝えることを大切にする。

(ウ) 意見交換の場の設定

- 自力解決の後、ペアやグループでの意見交換を位置付け、1時間の中で児童が自分の考えを表現することのできる場面を設定する。その際には、自分と同じ考えなのか違う考えなのか、共通点と差異点を意識して聞くようにさせる。
- 意見交換の後、再度自分の考えをまとめる時間を設け、考えを深めさせる。
- お互いの考えを認め合い、より良い方法を見つけ出す場を設定することで、今までに学んだことをもとに、自らの力で解決していくことができる経験やより良い考え方で解く喜びを一人一人の児童にもたせることができるようにし、学習する楽しさを味わわせたい。このことが、次時や次単元の学習意欲へとつながっていくと考える。

6 本時（全10時間中の第2時）

ホップ 野中 尚子

(1) 本時の目標

23×3の計算のしかたを考える。

(2) 授業の視点

○既習事項を生かして、話し合いに参加できていたか。

○全体での話し合いが、自分の考えを深めたり、新しい考えに気付いたりするための手だてとして有効であったか。


(3) 本時の展開

時間	学習活動	◇指導上の留意点 ☆評価規準（評価方法）
導入 10分	<p>I 前時の既習事項を復習する。</p> <p>T 1個20円のチョコレート4こ分の代金はどうやって計算すればよかったですか。</p> <p>C 10円を使って考えます。 10のまとまりで考えて、九九を使って計算します。</p> <p>2 本時の問題とめあてを知る。</p> <p>T 今日はケーキの計算をします。このケーキは1個23円です。3個買うと代金はいくらでしょうか。 問題を書きましょう。</p> <p>T 式を立てましょう。</p> <p>C 23×3です。</p> <p>T 昨日の問題とは違うところは分かりますか。</p> <p>C 何十、何百でないところです。</p> <p>T めあてを書きましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">23×3の計算のしかたを考えよう。</div>	<p>◇代金は（1つ分の値段）×（いくつ分）で求められることをもとに立式させる。</p> <p>◇加法の式を立てた児童がいた場合は乗法の式につなげさせる。</p>

展 開 3 0 分	<p>3 23×3 の計算のしかたを考える。</p> <p>T 大体いくらぐらいになると思いますか。</p> <p>C 20 が 3 つだから 60 円です。</p> <p>C 60 円よりは高くなります。</p> <p>T ではどのように代金を求めれば良いでしょうか。 九九を使って計算することはできるでしょうか。 昨日と同じ様にお金を使って考えられるかな。</p> <p>C 何十ではないので九九は使えないと思います。</p> <p>4 それぞれの考え方を比べる。</p> <p>T 昨日と同じ様に考えるにはどうしたらよいですか。</p> <p>C 23 円を 20 円と 1 円に分けて考えてみます。</p> <p>C 10 円が 2×3 個で 60 円 1 円が 3×3 個で 9 円 合わせて 69 円</p> <p>T これを十の位と一の位に分けた考え方を書いてみましょう。</p> <p>C $20 \times 3 = 60$ と 3×3 です。 合わせて 60 です。 $23 \times 3 \rightarrow \quad 3 \times 3 = 9$ $\quad \quad \quad \underline{20 \times 3 = 60}$ 合わせて 69</p> <p>T どちらの考えも答えは同じですね。ほかにも似ているところはありますか。</p> <p>C 3×3 と $9 + 60$ はどちらにもあります。</p> <p>C 2×3 は十円玉が 2 個のことだからと 20×3 と似ています。</p> <p>C どちらも 23 を分けて考えています。</p> <p>C 十円玉は十の位、1 円玉は一の位ということです。</p> <p>C どちらも九九で計算して、あとでたし算をします。</p>	<p>◇ 20×3 をもとにして答えの見当をつけさせる。</p> <p>◇ 実態から、児童から考えを出すことは難しいと予想するため、教師側から具体物を出し、ヒントを与えながら、全員で考える。 ※板書例参照</p> <p>◇ 12×4 のときには 12 を 10 と 2 に分けて考えたことを想起させる。</p> <p>◇ 1 が 3×3 個と 10 が 2×3 個と考えると 23 を 20 と 3 に分けて計算する考えを比べさせる。</p> <p>◇ それぞれの考え方に出てくる図と数字、式をつなげ、どんな数でもそれぞれの位に分けて考えれば九九を使って解くことができるといふよさをとらえさせる。</p> <p>☆ 既習事項を活用して、23×3 の計算のしかたを具体物や図、式を用いて表現して考えたか。 【思】(ノート・行動観察)</p>
-----------------------	---	---

まとめ 5分	<p>5 23×3 の求め方についてまとめる。</p> <p>T 23×3 の計算をするときはどうすればよいのですか。</p> <p>C 23 を 20 と 3 に分けて考えます。</p> <p>C 九九を使って計算します。</p>	
	<p>まとめ</p> <p>23×3 は 23 を 20 と 3 に分けると、九九を使って計算できる。</p>	

(4) 板書計画

<p>問題 1個23円のケーキを3こ買います。 代金は全部で何円ですか。</p> <p>式 23×3</p> <p>めあて 23×3 の計算のしかたを考えよう。 1こ20円だったら $20 \times 3 = 60$</p>	<p>考えよう</p> <p>① 1が 3×3 で9 10が 2×3 で60 合わせて69</p> <p>②</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>23×3</td> <td>$3 \times 3 = 9$</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$20 \times 3 = 60$</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="border-top: 1px solid black;">合わせて69</td> </tr> </table>	23×3	$3 \times 3 = 9$		$20 \times 3 = 60$		合わせて69	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>①①①</p> <p>①①①</p> <p>①①①</p> <p>⑩⑩⑩</p> <p>⑩⑩⑩</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>答え 69円</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px; text-align: right;"> <p>まとめ 23×3 は 23 を 20 と 3 に分けると、九九をつかって計算できる。</p> </div>
23×3	$3 \times 3 = 9$							
	$20 \times 3 = 60$							
	合わせて69							

ステップ 前澤 香織

(1) 本時の目標

23×3の計算のしかたを考える。

(2) 授業の視点

○既習事項を生かして、自分の考えをもつことができているか。

○自分の考えをペアで伝え合ったり、全体で共有したりする活動は考えを表現する手だてとして有効であったか。

(3) 本時の展開

時間	学習活動	◇指導上の留意点 ☆評価規準（評価方法）
導入 8分	<p>1 前時までの既習事項を復習する。</p> <p>T 12×4の計算は、どのように計算しましたか。</p> <p>C 12を9と3に分けて計算しました。</p> <p>C 12を10と2に分けて計算しました。</p> <p>T 20×4、200×4はどのように計算しましたか。</p> <p>C 10のまとまりや100のまとまりで考えて九九を使って計算できました。</p> <p>2 本時の問題から立式し、めあてを確認する。</p> <p>T 1袋23円のラムネを3袋買うと、代金は何円ですか。</p> <p>T 式を立てましょう。</p> <p>C 23×3です。</p> <p>T 昨日の問題の式と比べてみましょう。似ているところはあるかな。違うところはあるかな。</p> <p>C 3をかけるところが同じです。</p> <p>C 23は、20のように何十ではないです。</p> <p>T 今日のめあてを立てましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 60%; text-align: center;">23×3の計算のしかたを考えよう。</div>	<p>◇既習事項を確認する。</p> <p>前々時の12×4をかけ算のきまり（分配法則）や前時の20×3、200×3を10のまとまり、100のまとまりとして考え九九を使って求めたことを確認する。</p> <p>◇代金は（1袋あたりの値段）×（袋の数）で求められることを確認する。</p> <p>◇加法の式を立てた児童がいた場合は乗法の式につなげる。</p>

展開
30分

3 およその代金をつかむ。

- T 大体いくらぐらいになると思いますか。
C 20×3 より高くなると思います。
C 1袋あたり20円より3円高いので、60円より高くなります。

4 23×3 の計算のしかたを考える。(自力解決)

- T では、どのように代金を求めればよいでしょうか。
 12×4 や 20×4 のときのように、九九を使って計算することはできるでしょうか。
C できると思います。
C 12×4 のときのように、12を分けて考えて九九を使うことができました。
C 20×4 のときのように、何十×何を基にしてできると思います。

T 九九を使って 23×3 の答えを求める方法を考えましょう。
・図・式・言葉などで計算のしかたについて自分の考えをノートに表現する。

5 それぞれの考え方を共有し、比べる。(集団検討)

- ① ペアで自分の考えを伝え合う。
T 自分の考えを友達に伝えましょう。自分の考えと同じところ、違うところを意識しながら聞きましょう。

C1 23 円を 20 円と 3 円に分けて考えます。
1円が 3×3 個で 9円
10円が 2×3 個で 60円
合わせて 69円

69円

◇ 20×3 の考え方をもとにして
答えの見当をつけさせる。

◇今までに出会った乗法の問題を
振り返ることで、既習の方法を
使って答えを求められないか考
えさせる。

◇ 12×4 は12を10と2に分
けて考えたことを想起させる。

◇ 20×4 は10のまとまりに
し、10のいくつ分として考え
たことを想起させる。

◇自分の考えをもてない児童に
は、既習事項を確認し、考えを導
く。

◇自分の考えが表現できない児童
には、どのように考えたのかを
聞き、話したことを書き表せる
ように助言する。

☆既習事項を活用して、 23×3
の考え方を具体物や図、式を用
いて表現して考えたか。【思】(ノ
ート・行動観察)

◇必要に応じて「説明名人」の掲
示を参考にさせる。

◇自分と同じ考えなのか違う考え
なのか、意識して聞かせる。

◇意見交換の後、もう一度自分の
考えをまとめる時間を設け、考
えを深めさせる。

	<p>C2 23を一の位と十の位に分けて考えます。</p> $23 \times 3 \begin{cases} 3 \times 3 = 9 \\ 20 \times 3 = 60 \\ \hline \text{合わせて } 69 \end{cases}$ <p style="text-align: right;">69円</p> <p>② 全体で考えを共有し、深める。</p> <p>T 同じところや似ているところは、ありますか。</p> <p>C 答えが同じです。</p> <p>C 23を分けて考えているところが同じです。</p> <p>C 10円玉と1円玉に分けるということは、十の位と一の位に分けるのと同じです。</p> <p>C 別々に九九で計算して、あとでたし算をしているところが同じです。</p>	<p>◇1が3×3と10が2×3と分けて計算する考えと、23を20と3に分けて計算する考えを比べ、同じところに気付かせる。</p> <p>◇23×3=(8+8+7)×3=8×3+…のような計算について考えさせる。かけられる数が大きくなり、1桁の九九だけを使って計算することよりも何十×何を使うことのよさに気付かせる。</p> <p>◇どんな数でもそれぞれの位に分けて考えれば九九を使って解くことができるというよさを捉えさせる。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">まとめ 7分</p>	<p>7 23×3の求め方についてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>23×3は、23を20と3に分けると、九九を使って計算できる。</p> </div> <p>8 適用問題に取り組む。</p> <p>T 46×2の計算を今日学習した方法を使って解いてみましょう。</p> <p>C</p> $43 \times 2 \begin{cases} 3 \times 2 = 6 \\ 40 \times 2 = 80 \\ \hline \text{合わせて } 86 \end{cases}$	<p>☆23×3の考え方を生かして、適用問題を計算することができたか。【知】(ノート・行動観察)</p>

(4) 板書計画

<p>問題 1ふくら23円のラムネを3ふくら買うと、代金は何円ですか。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">写真 23円</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">写真 23円</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">写真 23円</div> </div> <p>式 23×3</p>	<p>考え</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">⑩ ⑩ ① ① ①</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">⑩ ⑩ ① ① ①</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">⑩ ⑩ ① ① ①</div> </div> $23 \times 3 \begin{cases} 3 \times 3 = 9 \\ 20 \times 3 = 60 \\ \hline \text{合わせて } 69 \end{cases}$ <p style="text-align: right;">69円</p>	<p>まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>23×3は、20と3に分けると、九九をつかって計算できる。</p> </div> $43 \times 2 \begin{cases} 3 \times 2 = 6 \\ 40 \times 2 = 80 \\ \hline \text{合わせて } 86 \end{cases}$
<p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>23×3の計算のしかたを考えよう。</p> </div> <p>1ふくら20円だったら 20×3=60</p>		

(1) 本時の目標

既習の考え方をを用いて、 23×3 の計算の仕方を考える。

(2) 授業の視点

○既習事項を生かして、問題解決に取り組んでいるか。

○自分の考えをペアで伝え合ったり、全体で共有したりする活動は考えを表現する手だてとして有効であったか。

(3) 本時の展開

時間	学習活動	◇指導上の留意点 ☆評価規準（評価方法）
導入 5分	<p>I 前時の既習事項を復習する。</p> <p>T 1個20円のチョコレート4個分の代金はどうやって計算すればよかったですか。</p> <p>C 10円を使って考えます。 10のまとまりで考えて、九九を使って計算します。</p> <p>2 本時の問題とめあてを知る。</p> <p>T 1箱23冊入っている箱が3つあると、本は全部で何冊になるでしょう。 式を立てましょう。</p> <p>C 23×3です。</p> <p>T 昨日の問題とは、どのような所が違いますか。</p> <p>C 20のように区切りのいい数ではないです。</p> <p>T 今日のめあてを確認しましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 23×3の計算のしかたを考えよう。 </div>	<p>◇(1箱分の冊数)×(箱の数)で求められることを確認する。</p> <p>◇加法の式を立てた児童がいた場合は乗法の式につなげる。</p>

展開 35 分	<p>3 23×3 の計算のしかたを考える。</p> <p>T 大体何冊くらいになると思いますか。</p> <p>C 20 が 3 つだから 60 さつです。</p> <p>C 60 さつよりは多くなりそうです。</p> <p>T ではどのように代金を求めれば良いでしょうか。 九九だけを使って計算することはできるでしょうか。</p> <p>C 大きい数だから九九は使えないと思います。 ・図、式、言葉などで計算のしかたについて自分の考えをノートにかく。</p> <p>4 それぞれの考え方をペアで共有し、比べる。</p> <p>C1 まとまりごとに計算した方法</p> <p style="margin-left: 20px;">$20 \times 3 = 60$</p> <p style="margin-left: 20px;">$3 \times 3 = 9$</p> <p style="margin-left: 20px;">$60 + 9 = 69$ 69 さつ</p> <p>C2 図で考えた方法</p> <p style="margin-left: 20px;">10 のまとまりが全部で 60 さつ</p> <p style="margin-left: 20px;">ばらが全部で 9 さつ</p> <p style="margin-left: 20px;">あわせて $60 + 9 = 69$ 69 さつ</p> <p>5 全体で共有する。</p> <p>T 友達同士で答えが同じだった人たちは、考え方で似ているところがありましたか。</p> <p>C 分けて考えて、九九を使いました。</p> <p>C まとまりとばらでわけて計算して、最後に足しました。</p>	<p>◇ 20×3 の考え方をもとにして 答えの見当をつける。</p> <p>◇ 既習の方法を使って答えを求められないか考えさせる。</p> <p>◇ 自分の考えが表現できない児童には、どのように考えたのかを少しずつ聞き、話したことを書き表せるように声を掛ける。</p> <p>◇ 自分の考えを持っていてることを称賛し、自信がもてるように声掛けをする。</p> <p>◇ 友達の考えを聞く時には、自分の考えとどのようなところが同じなのかを意識しながら聞くように伝える。</p> <p>☆ 既習事項を活用して、23×3 の考え方を表現することができたか。【思】(ノート・行動観察)</p>
---------------	--	---

ま と め 5 分	<p>5 23×3の求め方についてまとめる。</p> <p>T 23×3の計算をするときはどうすればよいのですか。</p> <p>C 23を20と3に分けて考えます。</p> <p>C 九九を使って計算します。</p> <p>C 繰り上がりがあっても九九を使って計算できます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>まとめ 23×3は20を20と3に分けると、 九九を使って計算できる。</p> </div> <p>6 適用問題に取り組む。</p> <p>T 46×2の計算を今日学習した方法を使って解いてみましょう。</p> <p>C $40 \times 2 = 80$ $6 \times 2 = 12$ $80 + 12 = 92$</p>	<p>☆既習事項を活用して、23×3の考え方を表現することができたか。【知】(ノート・行動観察)</p>
-----------------------	---	--

(4) 板書計画

<p>問題</p> <p>1はこに23さつの本があります。3はこあると、本は全部で何さつありますか。</p> <p>式 23×3</p>	<p>①</p> <p>23×3 $20 \times 3 = 60$ $3 \times 3 = 9$ $60 + 9 = 69$ <u>69ページ</u></p>	<p>まとめ</p> <p>23×3は 23を20と3に分けると、九九をつかって計算できる。</p>
<p>めあて</p> <p>23×3の計算のしかたを考えよう。</p> <p>1はこ 20さつだったら $20 \times 3 = 60$</p>	<p>②</p> <p>大きいまとまり(20さつ)が 3つ $20 \times 3 = 60$ ばら(3さつ)が3つ $3 \times 3 = 9$ 合わせると $60 + 9 = 69$ <u>69さつ</u></p>	